

カテゴリー	マテリアリティ項目	マテリアリティKPI	第14次中期実績	第15次中期目標	2030年目標	主な施策
社会 	魅力的な 革新技術開発	研究開発費に占める 革新技術開発費比率	2021年3月期比 +2.6%	2021年3月期比 +3%	2021年3月期比 +10%	● 生体センシング技術の開発や環境対応技術 などオリジナル技術への積極投資
	製品品質の向上	シートサプライヤー IQS評点 ※1	8.8P	7.0P	2.0P(高位安定)	● 検証ツールの精度向上による製品品質向上 ● グローバルで継続的に品質人材育成ができる 仕組みの構築
環境 	気候変動対応	CO ₂ 排出量削減率※2	2020年3月期比 △16%	2020年3月期比 △25%	2020年3月期比 △50%	● 開発・生産効率の向上 ● 植物由来の原料などを用いた製品の開発・推進 ● TCFDに基づくリスクと機会の分析および その対応 ● ISO14001/ISO50001に基づく エネルギーマネジメントの実施 ● 省エネルギー・再エネルギー設備の導入
	資源循環、有効活用	廃棄物削減率※3	2020年3月期比 △16% (全量)	2020年3月期比 △25% △25%	2020年3月期比 △50% △50%	
		取水量削減率と 排水による環境影響※4	2020年3月期比 △13% (全量)	2020年3月期比 △15% △15%	2020年3月期比 △50% 環境影響“0”	
	自然との共生	ティ・エス テック基金 (マッチングギフト制度)の創設	制度調査 構想検討	ティ・エス テックグループ による寄付制度の創設	ティ・エス テックグループ による寄付制度の創設	● マッチングギフト制度調査・制度構築
企業 基盤 	人権の尊重	エンゲージメント レーティング※5	C	BB	AAA	● 部署ごとの調査結果分析、優先課題の明確化 ● 評価制度・コミュニケーション機会の拡充
		サプライヤーサステナビリティ ガイドライン遵守率※6	97% (対象:国内取引先126社)	100% (対象:国内外取引先)	100% (対象:国内外取引先)	● 遵守状況確認調査の海外展開
	多様性を活かした 働き方改革	多様な人材の管理職比率※7	32.5%	33.3%	35%	● 階層別研修でのキャリア形成後押し ● 仕事とプライベートの両立支援 (出産・育児・介護の環境整備)
	ガバナンスの強化	コーポレートガバナンス・コード 遵守率	100%	100%	100%	● 腐敗防止のための継続的な取り組み

※1 株式会社J.D. パワー ジャパンによる日本自動車初期品質調査 SM (Initial Quality Study、略称IQS) の評点
 新車購入者を対象に不具合経験を調査し、車100台当たりの不具合指摘件数として集計される。数値が低いほど品質が高いことを示す

※2 当グループの事業活動に伴うCO₂排出量 (Scope1+2) の削減率

※3 当グループの生産活動に伴う廃棄物の削減率 (残渣、汚泥などは除く)

※4 当グループの工場設備での取水量 (使用量) の削減率と、生産活動に伴う排水による環境影響

※5 当社員を対象とした、株式会社リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」によるエンゲージメントレーティング
 目標とする「AAA」は全11段階中、最上位のレーティング

※6 当グループの取引先 (海外を含む) を対象としたサプライヤーサステナビリティガイドラインの遵守率

※7 女性・キャリア採用・外国籍・高齢者・障がい者の管理職比率